

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ベット柵に紐をかけ鈴をつけて行動を把握している	利用者様の安全を第一に考えベットからの転倒防止を考える	ベット柵に紐を通して鈴をつけることはやめ抱き枕を用意し抱き枕に鈴をつけて音がしたらすぐに見に行く。行動を把握するため車椅子にも鈴をつけた。(対象利用者様はすでに退所されておられます。)	1 か月
2	36	利用者様一人ひとりの尊厳、プライバシーの確保	利用者一人ひとりの情報を把握できるよう朝の引継ぎ時間を利用して周知する	朝出勤したら必ず気づきノートを見て、利用者様の情報を得る。業務日誌にも細かく日常を記入し記録書類に目を通したものは職員全員名前を記載して把握している。利用者様一人ひとりの人格を尊重し言葉かけには十分注意している。	1 か月
3	35	避難訓練、通報訓練の実施、スプリンクラーの設置	ご近所、自治消防団との連携をとりいざという時のために備える。	自治会長様にひだまりとの連携を地域の方と取りたい旨お願いにあがったところ副自治会長様に以来をしてほしいといわれ、まだ進展していません。消防署への通報訓練は春に実施済み。スプリンクラーは来年5月頃設置予定。	か月
4	33	重度化した場合や終末期のあり方	入所段階で重度化、終末期の方針の話をし文章化し同意書を作成する。	書面の作成がまだおらず、入所者のご家族様には話の出来る方から進めています。看取りについては思案中。	か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。  
注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。